

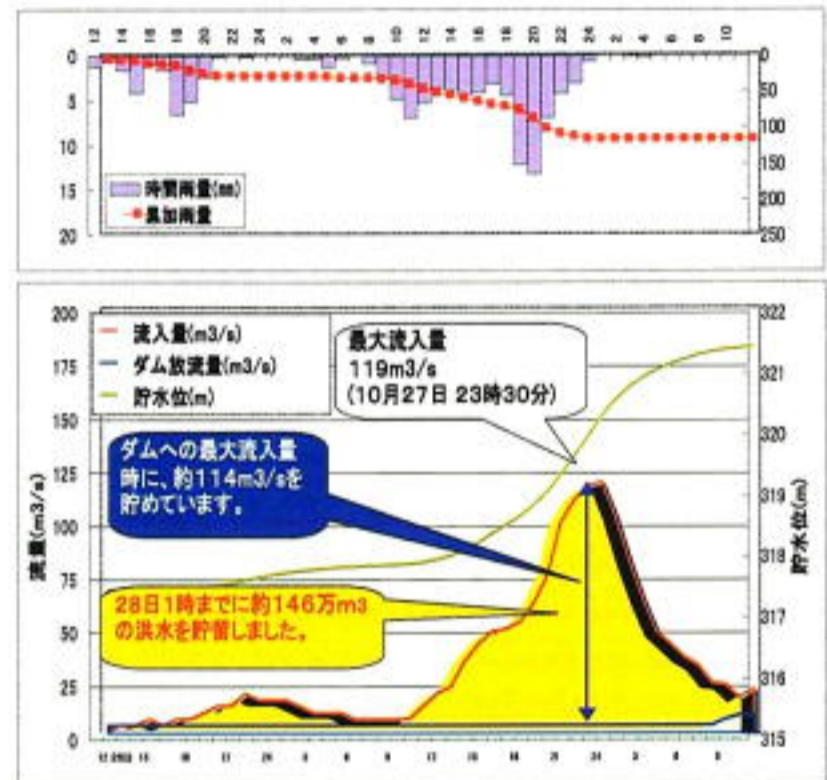
台風20号 出水における洪水調節

平成19年10月26日 午前に発生した台風20号の影響により、三春ダム流域内においても午後より雨が降り始め、27日 10時20分 大雨・洪水注意報が発表されました。

三春ダムでは、27日 20時30分に洪水警戒体制に入り、気象・水象情報収集、関係機関との連絡などを行い警戒に努めました。

ダムへの流入量は、27日 23時30分に最大流入量 毎秒119.16m³を記録し、この時放流量を毎秒4.9m³とし、上回る流量約毎秒114m³を貯め込む洪水調節を実施しました。

今回の洪水は、流域平均総雨量 113mmで、貯水池に約146万m³の流水を貯め込みました。



今年の洪水期を振り返って

洪水期とは、台風や梅雨などの大雨により、大きな洪水が予想される期間（三春ダムの洪水期は、6/11～10/10）をいい、その間は洪水に備えて、予め水位を下げて管理しています。

今年、三春ダムでは、9月7日（台風9号）と10月27日（台風20号）の2回の洪水があり、ダムに水をため、下流に流れる水の量を低減しました。（三春ダムでは、ダムへの流入量が100m³/秒を超えるような出水を、洪水と呼んでいます。）特に9月7日の洪水では、ダムへの流入量が約200m³/秒に達し、平成14年の洪水以来の大きい洪水となりました。

過去に洪水及び洪水警戒体制をとった数をまとめると表-1のとおりとなります。今年は、

今のところ洪水の数自体は2回と平年並みですが、洪水警戒体制をとった数は9回と近年5ヵ年で一番多くなっています。今年は洪水にまでいたらない中小規模の出水が多く、担当者はしばしばダムに泊まり込んで対応に追われました。

今年も洪水期間外の10月27日に洪水がありましたが、近年、洪水期間外にもしばしば出水が起こる傾向にあります。今年の洪水期は終わりましたが、今後も出水に対して万全の体制で備えます。

(回数) 過去5年間の洪水調節・洪水警戒体制

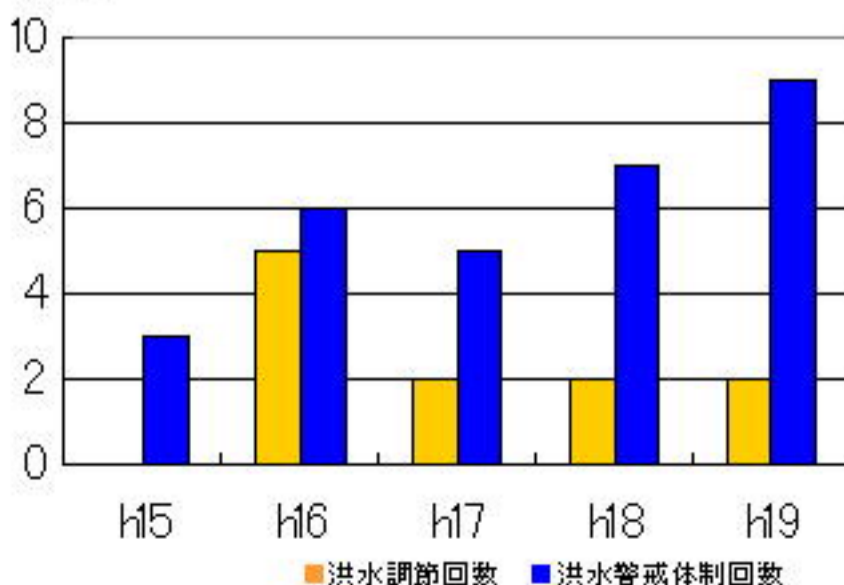


表-1

「地域に開かれたダム」 全国連絡協議会現地交流会

三春ダムは、「地域に開かれたダム」の第1回目（平成5年）の指定を受け、地域のシンボルとして親しまれるダムづくりを実施しています。「地域に開かれたダム」とは、地域の創意工夫を活かすとともに、ダムを一層開放し、ダムが地元にとってより密着した施設となるよう、ダムの利活用を推進し、より地域の活性化を図ろうとする制度です。

今年10周年を迎えたこの三春ダムで、平成19年10月19日、「地域に開かれたダム」全国連絡協議会の現地交流会が行われました。当日は、全国から約40名の方が出席し、三春ダムの概要やさくら湖周辺の環境整備や学習や研修などの活動状況などの説明の他、堤体や資料館など周辺施設の見学が行われました。



水質事故対策オイルフェンス設置訓練

平成19年10月10日（水）福島市内の河川敷を会場に阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会（上流支局）の水質事故対策講習会が開催されました。

講習会には、阿武隈川流域の水質事故発生時に対応する県、市町村、消防等の担当者が参加し、水質事故発生に備えての準備品や発生時の留意点などの説明を受けた後、実際に河川を利用してオイルフェンスの設置訓練を実施しました。

各参加者は、いざという場合に備え、設置の手順や張り方など水質事故発生時の対応を再確認しました。



オイルフェンス設置訓練の様子

さくら湖において油流出事故発生

平成19年11月4日（日）夕刻 三春ダム貯水池（春田地先）において乗用車転落事故に伴う油の流出事故が発生しました。

三春ダム管理所においては、状況確認、関係機関への連絡を実施するとともに翌日より流出した油の回収作業を実施しました。今回の事故においては、利水者の取水停止等の事態にはなりませんでしたが、さくら湖は、水道水源にも利用されている貯水池のため、多大な被害が発生する可能性がありますので油等の流出には十分注意していただくとともに三春ダム管理所としても迅速な対応に万全を期していきます。



オイルマット使用状況

三春秋まつり 2007 開催

11月3日、4日の2日間「三春秋まつり」が三春交流館周辺を会場に開催されました。～魅せる楽しむ町内交流 環境にやさしいまちづくり～をテーマに、展示コーナー・販売コーナー・体験コーナーなどの他、「三春の四季」写真コンテストやスタンプラリー・もみじウォーク・ゆどうふ食べくらべ大会などが行われ、秋晴れの天気にも恵まれ2日間たくさんの人で賑わいました。三春ダム管理所は、展示コーナーに出展し、三春ダムのはたらきや水質対策の取り組みのパネル展示・パックテスト・pH試験や射的大会を行いました。射的は、割り箸と輪ゴムで作り、的はタバコの空き箱に三春ダムのはたらきを貼り付けたすべて手作りのゲームです。子ども達は、的を狙って真剣そのもの、なかなか当たらない子、5個の的を全部倒してしまった子などそれぞれですが、倒れた瞬間子供たちは「ヤッター!!」と飛び跳ねて体いっぱい喜びを表現していました。



パックテストや pH 試験紙で、さくら湖・桜川・ジュース・石鹸水などの簡易的な水質試験をしました。

的を狙っている子どもはもちろん、お父さんも真剣です。当たるかな～!



三春ダム管理所のコーナーは、一時順番を待つ人の行列ができる程好評でした。



くるしい!でも、結構美味い豆腐だったよ。係長より

ゆどうふ食べくらべ大会に出場
この大会に優勝し京都での本戦大会出場を目指し、三春ダム管理所を代表して係長が出場しました。
予選は、豆腐4丁を制限時間10分以内で完食しなければなりません。これは楽勝と安心して大会の様子を見ていました。はじめは、余裕で豆腐を味わって食べている係長でしたが、一丁を食べ終わる頃には、お腹も膨れ替を口に運びスピードがだんだんと遅くなり、しまいにはため息を付ながら辛そうに豆腐を口に運んでいました。ロー杯にはおぼろげに最後まで頑張りましたが、あと豆腐2分の一丁というところで制限時間となり、惜しくも予選敗退となってしまいました。ちなみに決勝戦に残ったのは参加者30名中13名、中には女性も一人いました。決勝戦は、制限時間内により多くの豆腐を食べた方が優勝。今回は、決勝戦で8丁食べた方が優勝しました。予選から合計すると12丁豆腐を食べたことになります。「やっ!」というより信じられない。



LA FESTA MILLE MIGLIA 2007

10月13日、色付き始めたさくら湖がコースとなり1920年代～1960年代に製造されたクラシックカー118台が一般道を走行しました。さくら湖がコースに選ばれるのは、今年で3回目となります。さくら湖周辺では、滝の平原石山駐車場でタイムレースが行われ、クラシックカーや有名人を一目見ようと大勢の人が集まりました。写真を撮影した春田大橋にもカメラマンや旗を持ち応援する方を多く見かけましたが、橋の上は、日が暮れるにつれ冷たい風が吹き始め震えながらシャッターをきっていました。



ミーちゃん&んくんの なぜ?なに?さくら湖

Q. ダムになる以前の地形はどのようになっていたのですか?

A. ダムサイトは郡山市の東方約10Kmに位置し、全体に標高270m~390mのなだらかな丘陵状の山容をしめしていますが、ダムサイト付近のみ西方溪谷と呼ばれる狭窄部を形成していました。川床は10~15m程度で、両岸とも傾斜角度30°~40°の急斜面からなるV字型の溪谷が東北から南西の方向に約400mに及んでいました。基盤岩は、主に阿武隈高

原に広く分布する中生代白亜紀の花崗閃緑岩で構成されていました。



三春ダム直下流から撮影した写真です。白い点線の部分が現在の堤体になります。

三春ダム資料館からのお知らせ



三春ダム資料館内にあります喫茶コーナー

“フォーレ”の営業時間が変わります。

フォーレ冬季営業時間のお知らせ
12月1日(土)~2月29日(金)
午前10時~午後3時
定休日 毎週月曜日
(祝日の際は、翌営業日)

1階展示ギャラリー・2階展示室は通常どおり午前9時~午後4時半まで閉館しております。

10月の見学者 俳句ポスト作品紹介

- ・ 1日 日本大学 工学部 12名
- ・ 11日 本宮市 青田小池・日記沢・高日向ふれあいサロン 25名
- ・ 16日 三春町立御木沢小学校4年生 16名
- ・ 22日 伊達市上保原ピーチカレッジ 25名
- ・ 23日 阿武隈川環境整備連絡協議会 11名



御木沢小学校のみなさん

秋のく
る笑ら
秋顔湖
がに

三心四
春の香
が郷土
のつ
す

水す秋
のみば
色われ
たや
る室



編集後記

さくら湖周辺を彩っていた紅葉も風と共にハラハラと舞い落ち、11月18日には初雪も降りました。季節は本格的な冬へと一歩ずつ近づいているようです。今月は、さくら湖自然環境フォーラムが22日・23日と行われました。詳しい内容等は、来月号の管理ニュースでご紹介と思いますが、今年も素晴らしい研究発表をご覧頂くことができました。発表されたみなさん、スタッフのみなさんご苦労さまでした。(石井)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

Tel 0247-62-3145 / Fax 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>